

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 9 No 09

99号

平成13年10月1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

米国同時多発テロ事件

院長

9月11日深夜テレビを見ていると、世界貿易センターに飛行機が突入というニュース速報が流れました。「小型機が何か突入したのかな？」と思ってチャンネルを回してみると、ビルから炎と黒煙が上がっていました。中継の最中、別の棟に飛行機が突入するのがリアルタイムで伝えられました。まさかとも思いながら、突入の画面から真っ先に浮かんだのは、「戦争」という言葉でした。ニュース速報では単なる事故と思っていましたが、国防総省への突入、旅客機の墜落、ビルの崩落、犠牲者の数など、悲劇の全貌が次第に明らかになっていき、あまりの事件の大きさにがく然としてしまいました。「戦争」という言葉が当てはまるような、惨劇の様相を呈するようになりました。最終的には、旅客機がハイジャックされ乗員もろとも突入したことから、米国政府はテロ事件と断定しました。日常では起こりえない状況下で犠牲者の方々が、どんな思いだったかと、他国での出来事ながらテロに対する怒りが込み上げて来ました。直接的な被害の甚大さは言うまでもありませんが、二次的な米国の経済への影響のみならず、全世界的な影響にも計り知れないものがあります。最終的に犠牲者は、6000人にも達すると思われています。

このようなテロに対しては、どう考えたらいいのでしょうか。米国はこのテロ事件を戦争と解釈し、直ちに報復を表明しています。そして報復の対象は、テロ集団だけでなくテロを支援する国にも及ぶことを明らかにしています。テロはテロリズムの略で、意味を調べてみると次のようになります。「一定の政治目的を実現するために暗殺・暴行などの手段を行使することを認める主義、およびそれに基づく暴力の行使。テロ。」(大辞林)。現代は法と秩序を根底として成り立っているわけですから、このようなテロが許されるものではありません。テロの根絶のためには、国際的な協力が必要なことは言うまでもありません。

テロには、理由が明確でないものもあれば、政治や宗教の主義主張が関係しているものもあります。今回のテロに



10月のお知らせ

・お母さんクラブ 虫歯を防ごう!

10月27日 福沢市民センター

今回は保健所の協力を頂いたので、会員以外の方の参加も、お待ちしております。詳しくは、院内掲示で。



は、確かに米国の中東政策(詳しくは触れませんが)にも責任があるかもしれない。また世界で最も強い国家である米国のおごりもあったかもしれません。しかし、どんな理由があっても、一般の国民に対して無差別に攻撃するテロは、許されるものではありません。またアフガニスタンの状況が伝えられるたび、タリバンの子どもや女性達への人権を無視した暴挙には、怒りを感じざるを得ません。



放映されるたびに、テロ犠牲者の家族の悲しさや悔しい気持ちやが伝わってきます。テロに対する報復には、様々な意見があるでしょう。武力攻撃が最良の方法ではないことは誰でも知っているし、亡くなった方々が帰ってくる訳ではありません。しかし家族の怒りや悲しみは、どこに向けたらいいのでしょうか。たとえ首謀者を捕えたとしても、テロ集団が残っている限り、またテロ行為が繰り返される恐れがあります。テロ集団を支援する国があれば、テロ集団が再び結成される可能性もあるはず。大事なことは、地球を一つの星と考えることでしょう。この我々の住む地球のためにも、テロの無い世界を作る。そのためには国際的な同意が得られれば、壊滅することを目的に行動することも止むを得ないことだと思います。

日本の自衛隊の問題も取り上げられています。憲法上の解釈もあり、様々な意見も出ています。戦争を放棄することは大事なことです。自国を守るためには使えるが、我々の住む地球のためには使えない。何か、勝手さを感じるのはいさだかでしょうか。テロ行為はもちろん、戦争や報復を肯定するつもりは毛頭ありません。しかし、世界にとっても日本にとっても、大きな決断が必要な時期なのでしょう。あくまで個人的な考えです。字数も限られているので、誤解が生じるかもしれません。この考えを他人に強制するつもりもないし、正しいと思っているわけでもありません。いい機会ですから皆さんも、地球という星、世界の平和、テロということについて、考えてみて下さい。

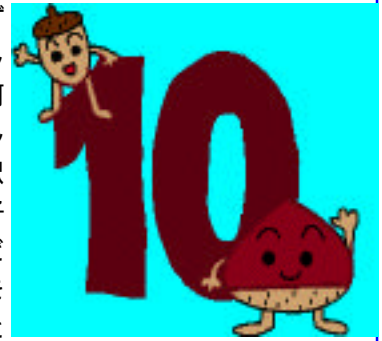
最後に、このテロ事件で犠牲になられた方々の御冥福を、心よりお祈りいたします。

犠牲者への募金のお願

窓口に募金箱を設置しました。テロ犠牲者だけでなく、アフガニスタンの子どもたちへの募金にもしたいと思います。御協力宜しくお願い致します。

読者の広場

先月もまた20通以上のメール頂きありがとうございました。まずは青葉区の入江さんからです。「昨日は、ありがとうございました。夏の間は風邪もひかず、お世話になることがありませんでしたがこれからの時期は何度かお世話になると思いますので、よろしく願い致します。また昨日は友人の子の話(四ヶ月でミルクを飲まないで母が悩んでいる)までずうずうしく相談してしまい申し訳ありませんでした。クリニックNEWSにも同じことが書いてありましたが、母の不安が子に伝わるんじゃないか、逆に母が安定していれば病は気からで子ども安心して不思議とひどくならずすんだりしたりということはあると思いました。でも相談できる先生や機関を探してもなかったり、心の負担が解消されなかったり…。どんな時代も子育ては大変だと思いますが、今はもっと大変んじゃないかと私も思います。その点、先生にはそういう面でもケアしていただけるので、私は恵まれてると思います。実は、今まで行った病院などが原因で病院不信になっていたのも、川村先生に出会えて良かったなあと考えているんです。(何故そうなったかは機会があればまたお話しします)これからも母子ともどもよろしくお願い致します！先生は心身ともにハードで大変だと思いますが、頼りにしています頑張ってください！」。是非病院不信になった理由が聞きたいものです。続いては宮城野区の森さんからです。「川村先生、いつもお世話になっております。森愛加の母です。先生にご紹介していただいた、アイヘルスのホームページを見せていただきました。先生の理念やこれまでの先生の歴史を読みながら、1人で画面に向かってうなずいておりました。(笑)院内報のことや、メールでの医療相談などアクティブな先生の医療活動がとても伝わってくる、素敵な内容でした。そして、いつも思うのですが、先生の理念や私たち患者に対する思いやりが、スタッフの方々にも浸透していて、特に看護婦の中米さんには、いつも「ここ」というときに、アドバイスや励ましをいただいている感謝しております。これから、冬に向かって忙しい時期が始まりますが、ご自愛なさってお仕事をなさってください。何より先生がお元気で、診察していただけるのが私たち患者にとって、一番の特効薬ですから！」。何度かメール頂いたので、小生が紹介されているHP(<http://www.ihealth.co.jp/edoc/6th.html>)を教えまし



た。小生の考え方や育児支援の取り組みについて、わかりやすく紹介されています。興味があればご覧下さい。掲載できなかった方々、ありがとうございました。

ポリオ予防接種のお知らせ

今月はポリオの接種があります。年に2回

です。該当する方は忘れずに受けるようにして下さい。住所が表に無い方はスタッフまで。詳しい表をお渡ししています。対象者は次の通りです。

第1回 平成13年1月1日～6月30日生れの児

第2回 平成12年10月に1回目の投与を受けた児

その他 投与を延期していた90ヶ月までの児

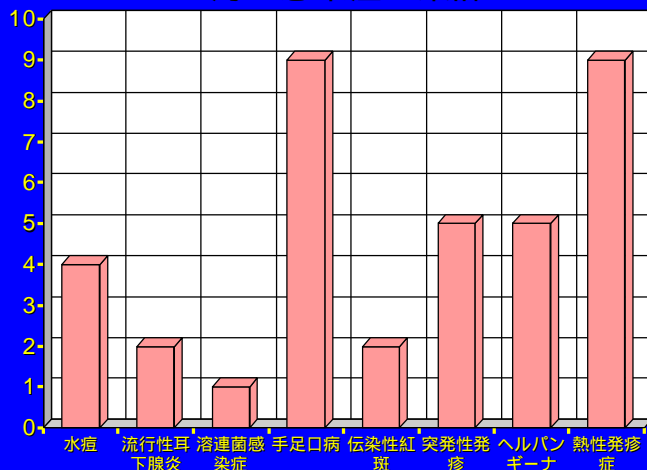
院長は、10月18日(木)青葉区保健福祉センターが、接種担当日ですが、成人のみの担当です。昭和50～52年のお母さん方には、再度接種することを勧めます。

地区名	実施月日	曜日	実施区域	会場
青葉区	10月17日	水	北六、小松島、中江	区役所保健福祉センター
	18日	木	台原、旭ヶ丘	区役所保健福祉センター
	19日	金	立町、東二	区役所4階会議室
	24日	水	北仙台、東六、上杉	区役所保健福祉センター
宮城野区	10月2日	火	原町、東宮城野	区役所6階ホール
	4日	木	岩切	岩切保健センター
	10日	水	鶴ヶ谷、鶴ヶ谷東	鶴ヶ谷市民センター
	17日	水	新田	区役所6階ホール
	24日	水	栢江	区役所6階ホール
	25日	木	蒸沢、東仙台	区役所6階ホール
泉区	30日	火	幸町、幸町南	区役所6階ホール
	10月11日	木	加茂、七北田、上谷刈	区役所東庁舎5階
	17日	水	黒松、旭丘堤、真美沢	区役所東庁舎5階
	18日	木	八乙女、鶴ヶ丘	区役所東庁舎5階
	19日	金	南光台、南光台東	区役所東庁舎5階

100号特集号について

もうすぐ創刊100号(11月号の予定)になります。これを記念して、特集号を計画しています。紙面を増やして、様々な企画をしたいと思っております。是非、特集号に、当院に対する思いや記念になるもの(写真でも絵でも可)を。一つの区切り、思い出になればよいと思っています。どしどし応募を!!。詳しくは窓口で。

9月の感染症の集計



今年例年と違って、9月になってもクリニックは忙しくありません。感染症も手足口病が多少目立つだけで、特に流行している病気はありません。9月の下旬から少し朝夕の気温の変化が強くなり、喘息の子どもが目立ってきています。喘息のお子さんをお持ちのお母さん、気をつけて下さい。ゼーゼーしてきたら、早めの受診を心がけて下さい。

編集後記

とても悲しい事件が起きました。事実が明らかになる中、アフガニスタンの惨状も、心が痛むことです。こんなときに不謹慎ですが、いかに経済状況が悪化しているといっても、日本という国はなんて幸せなのかと、改めて感じました。

